

<令和 7 年度 全国学力・学習状況調査の結果について>

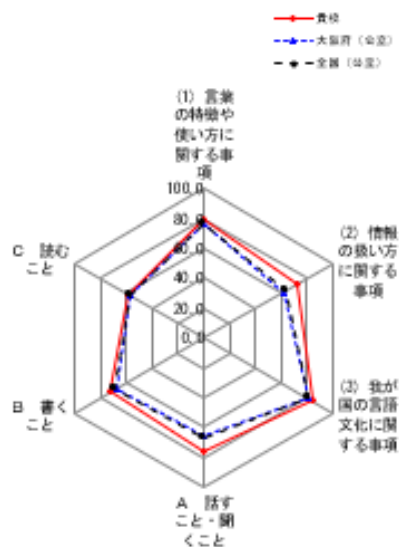
本年度 4 月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の結果概要についてお知らせいたします。国語、算数、理科と、すべての教科において大阪府および全国の平均正答率を上回る結果でした。手応えのある結果ですが、これに甘んじることなく、引き続き、児童の学力向上に向けて各教科等の授業改善に努めてまいります。

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について（正答率(%)）

教科	本校	大阪府	全国
国語	71	65	66.8
算数	60	58	58
理科	59	55	57.1

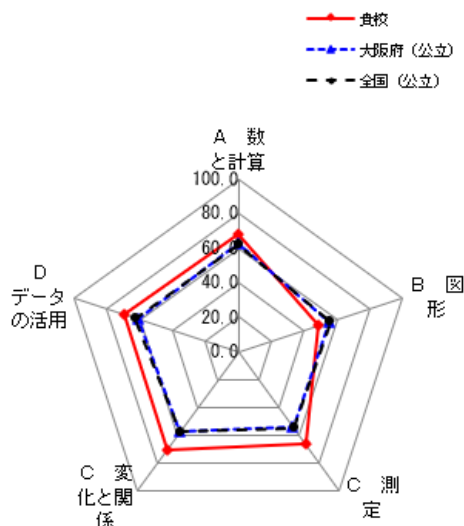
国語

大阪府・全国の平均正答率を上回る結果でした



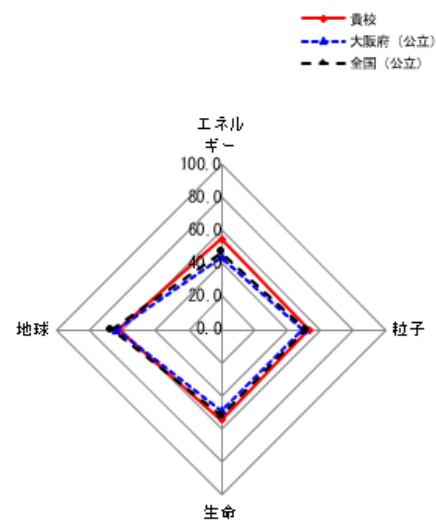
算数

大阪府・全国の平均正答率を上回る結果でした



理科

大阪府・全国の平均正答率を上回る結果でした



結果から見てきたこと

本校は「伝えよう つながろう ことばと心」を研究テーマとして掲げ、子ども達がねばり強く言葉と向き合うことができるように、日々の授業を大切にしています。その結果として「全ての問題を最後まで解こうと努力した」と回答した児童の割合が3教科ともに約 90%と大阪府、全国と比べて非常に高い結果となりました（大阪府約 76% 全国約 79%）。上のレーダーチャートからも分かるように、各教科ほとんどの学習領域で大阪府、全国の平均正答率を上回りました。学習に対して最後まであきらめずに頑張ろうとする子ども達の姿が結果に現れ嬉しく思っております。その一方で課題も見られました。

国語

漢字で「このみ（好み）」と書く問題や「物を包む使い方」について 3 つの条件を満たして書き直す問題についての誤答が、大阪府や全国に比べてやや目立ちました。日々の授業や宿題での漢字の定着や複数の条件を全て満たして文章を書く活動に慣れることが必要であると捉えております。

算数

図形領域において大阪府や全国の平均正答率よりも下回っており課題が見られました。特に「台形」を選ぶ問題では大阪府、全国の平均正答率より 13%低い結果でした。また分母が異なる分数の計算の仕方や、目的に応じたグラフの選択とその理由を記述する問題においても平均正答率が低く、授業や宿題に復習を取り入れながら学習内容の定着を図ることが必要であると捉えております。

理科

条件を使って記述する問題や水の温まり方や蒸発、結露についての問題で、大阪府や全国の平均正答率よりも下回り課題が見られました。学習内容の復習を行いながら定着を図ることが必要であると捉えております。

<質問紙調査の結果>

児童質問では、全部で71問の質問事項がありました。質問内容は、「基本的生活習慣」から、「学校生活」「ICT の活用」「学習に対する興味・関心や授業の理解度」等です。多くの質問内容で「よくあてはまる」と回答した児童の割合が、大阪府や全国の回答率を上回る結果となりました。どの質問内容をみてもたいへん良好でした。71問の中から一部紹介いたします。



「よくあてはまる」と強い肯定的回答を選択した児童の割合 (%)

質問内容	本校	大阪府	全国
学校に行くのは楽しいと思いますか	66.7	49.1	49.9
授業や学校生活では友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	66.7	49.2	49.2
あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、お互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	59.3	36.7	36.5
国語の授業の内容はよく分かりますか	55.6	40.6	35.9
国語の授業で、目的に応じて簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き方を工夫して文章をかいていますか	59.3	36.9	34.7
算数の授業の内容はよく分かりますか	66.7	44.9	41.7
算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	59.3	33.8	29.3
理科の勉強は得意ですか	59.3	39.6	40.9
理科の授業では観察や実験をよく行っていますか	92.6	61.1	59.6
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	74.1	46.9	47.3

このような結果を得られましたのは、まさに、「学校に関わる全ての人が主体的に『居心地のよい学校づくり』に参画している学校」という、めざす学校像の実現が叶っているからだと保護者・地域の皆様に感謝しております。これからもチーム鳥小で、子どもたちのためにできることを考え協働して取り組んでまいります。引き続きご協力をお願いいたします。